

珍しい魚

## 天蓋羽太(テンガイハタ)、香川県に出現

2019年4月に香川県東かがわ市引田沖の定置網でテンガイハタが漁獲されました。

テンガイハタ *Trachipterus trachipterus* (Gmelin, 1789) はアカマンボウ目フリソデウオ科サケガシラ属に属する魚類で、地中海から東大西洋を経て南アフリカ、ニュージーランドや中央太平洋などに幅広く分布しており、日本近海では青森県から土佐湾にかけての太平洋沿岸で見られます。体側に5個の黒斑がある、尾鰭が長いなどの特徴で、近縁種であるサケガシラと区別されます。本種は最大で全長3mに達しますが、今回漁獲された個体は全長約33cmで、幼魚と思われます。

テンガイハタは本来深海魚ですが、太平洋沿岸では幼魚期に浅海で見られることがしばしばあるようで、2018年に伊豆・三津シーパラダイスで展示されたとの報道もありました。浅瀬の多い瀬戸内海に姿を現すのは珍しいことだと考えられます。

このような深海魚が瀬戸内海でも見つかることは、太平洋と瀬戸内海という海同士の繋がりを感じさせてくれますね。



写真のテンガイハタのデータ：平成31年4月 引田沖の定置網で漁獲  
全長 32.5cm (標準体長 23.4cm)

### 【参考資料】

中坊徹次 (編)、2013年、日本産魚類検索 全種の同定 第三版

海洋資源開発センター、1986年、パタゴニア海域の重要水族

塩垣ほか、2004年、改訂青森県産魚類目録、青森県水産総合研究センター研究報告第4号

静岡新聞、2018年11月22日、幻の深海魚「テンガイハタ」展示 伊豆・三津シーパラダイス

Fishbase、<https://www.fishbase.se/summary/1777>

2019年7月9日 文責：榎野秀平